博物館評価（2018 年度）

Ⅰ　博物館評価について

2010 年度より、当館では事業戦略会議ワーキングチームを立ち上げて、博物館評価（自己評価）の作業を開始した。この博物館評価は、NPO が指定管理者として管理運営をする中で、事業のみならず博物館活動全般において、それまで行ってきたことをチェックして改善をはかるために実施している。ワーキングチームのメンバーは NPO 法人野田文化広場事務局長と学芸員 4 名で、検討内容の途中経過は随時、その間に開かれた企画事業委員会や法人の理事会で報告して意見を聴取してきた。

博物館評価表（A3 折込）は、当館の 3 つのミッション（13 ページ）を大項目とし、これに対応するようにして、それぞれの具体的な目標となる中項目を設定した上でさらに具体的な評価指標の項目をあげた。そこに、指定管理運営となった 2007 年度以降のデータを入れ、経年的な推移を示している。またモニタリング調査等で収集したデータを加えている。

Ⅱ　自己分析（Check）

①博物館機能を充実させる

資料収集や調査研究等の博物館の基礎機能を充実させる。博物館の基礎機能とは、博物館の存在基盤であるコレクションのマネジメントである。2007 年度以降、本格的なコレクションの収集、整理、保管管理と公開に向けた準備作業を行ってきた。また、その情報を公開することも進めている。

【現状評価】

資料収集の状況について、収蔵点数（1）に関し、新規収蔵点数は昨年度から 446 点増加した。寄贈された資料件数（2）は前年度より 34 件少なかった。収集方法は寄贈や購入を主とし、不必要な寄託が行われないよう留意されている（3）。資料購入は前年度と比べて件数・総額ともに増加した（4）。

資料の保管状況について、本年度は燻蒸の実施年にあたっていない（5）。継続して行っている粘着トラップによる収蔵庫の定期的なモニタリングは、前年度が減少したこともあり本年度は回数が増加した（6）。

資料再整理業務の実施状況を表す収蔵庫での作業日数（7,8）については、前年度と同様に今までに蓄積してきた資料情報のデータベースへの入力作業に注力したほか、真夏日・猛暑日の増加により収蔵庫内での作業時間は減少してきている。2014 年度にホームページ上に開設した「資料データベース」では、今年度は 70 件の資料について公開及び更新を行った。今後も継続的に整理・入力を進め、公開数を増やしていきたい。

学芸員の活動について、学芸員の講演回数は昨年度から微減となった（9）。学芸員による館外調査の件数は昨年度より微減となった（10）。館蔵資料閲覧の件数は昨年度から微増となったが（11）、今後の傾向としてはホームページ上の「資料データベース」の充実に従い閲覧件数は減少していくものと思われる。新規収蔵資料の公開は引き続き企画展「野田に生きた人々　その生活と文化」の展示スペースの半分を充てて行い受け入れ件数ベースですべて紹介をした（12）。博物館の資料収集活動についての市民への説明責任を果たすと同時に、展示内容に変化を生み出す意味でも効果的に機能している。資料貸出件数は昨年と同数であった（13）。画像の提供、利用許可件数は昨年度からさらに増加した（14）。これは、市民会館をコスプレ撮影で利用する若者が増加し、和室や庭園を背景とした写真を撮影し、SNS 等にアップするための利用申し込みが増えたためである。

【改善を要する点等】

粘着トラップによる収蔵庫の定期的なモニタリングについてはほぼ平年並みの回数となった。今後は

これを継続していきたい。その他の項目ついては前年度より引き続き良好に経過していると思われる。

②利用者サービスを図る

すべての利用者に開かれた博物館として、幅広い層の人びとが来館することを目指している。そのために、公共施設としての基本的な機能を維持し、さらに館内施設の充実や利用者・関係者の満足度やニーズを把握して質の高い市民サービスを提供することを心掛けてきた。

【現状評価】

博物館、市民会館ともに通常ベースの開館日数であった(15,16)。博物館の総入館者数と 1 日平均入館者数は前年度から減少したが(17,18)、ひとつの目安と考えられるここ数年の総入館者数約 3 万人、1 日平均約 110 人よりは高い数値となっており、極端なものではないと考えている。リピーター率は昨年度より増加し初めて 60%となった(19)。その一方で初めて博物館を利用した「新規来館市民の割合」は減少した(33)。

市民会館の方では、総入館者数(20)と 1 日平均入館者数(21)は前年から微減となった。貸部屋利用団体数については市内の団体が微減(23)、市外の団体は微増となった(24)。貸部屋稼働率は昨年度より微減となったが(22)、ほとんどの開館日で貸部屋が利用されている状況となっている。

来館者が利用に満足しているかどうかのチェックである、展覧会の満足度、施設の雰囲気や居心地に対する満足度は昨年度よりやや上昇した(25,26)。

職員・スタッフの対応を受けた来館者の割合はやや上昇したが(28)、対応に対する満足度はやや低下した(29)。本年度実施した市民会館貸部屋利用者に対する満足度調査は、前回の 2014 年度から微増となった(27)。

博物館刊行物の販売(31)は、過去最高となった前年度より減少したものの、ここ数年では多い数値である。一方で、刊行物以外の品物の売り上げは昨年度から約半減となった(32)。

【改善を要する点等】

2016 年度から続く市民会館の利用者の増加は、野田市の魅力を知ってもらう機会ともなり喜ばしいことである。登録文化財であることに配慮した施設利用についても、引き続き利用者に丁寧に説明をしていきたい。

③ 市民の交流の拠点にする

市内の様々なコミュニティに属する団体と広く連携をし、博物館がコミュニケーションの推進役となることで、地域の活性化・まちづくりに繋げていくことを目指してきた。

【現状評価】

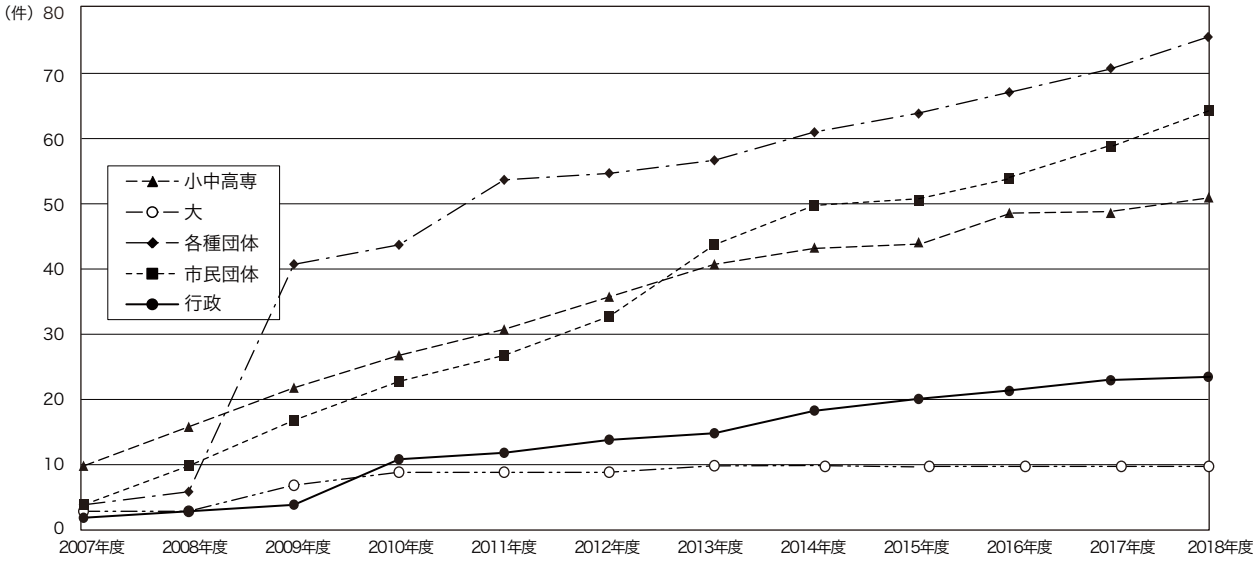
交流事業の総参加者数は昨年度より減少となった(34)。さまざまなコミュニティとの連携(35 ～ 39)では、各展覧会や寺子屋講座等で連携を行った。本年度新たに関係のあった団体の具体的な概要は表 1 のとおりである。小学校 3 年生の「昔のくらし」の単元での小学校団体見学は今年度も変わらず多く、火のしや電話機などを活用した体験が好評を博した。

【改善を要する点等】

全体的に順調に推移していると思われる。

コミュニティの種別	団体・グループ名	内容
小中高専	成田市立新山小学校	団体見学
小中高専	柏市立酒井根東小学校	団体見学
各種（その他）	NPO 法人 Music Plus One	ミュージアム・コンサート出演
市民団体	野田切り絵の会	展示協力
市民団体	ほのぼの会野田市クラフトくらぶ	展示協力
市民団体	野田のてんとう虫を守る会	寺子屋講座講師
市民団体	音の旅人くみ∞せい＆パープル	ミュージアム・コンサート出演
市民団体	野田市子ども会育成連絡協議会	団体見学
行政	千葉市埋蔵文化財調査センター	寺子屋講座講師

表１　新たに連携をした団体・グループ（2018 年度）



④市民や市役所との意思疎通を図る

博物館職員と市民とが対等にコミュニケーションをすること、担当課である社会教育課との意思疎通をスムーズに行い、円滑な博物館運営につなげることを目指してきた。

【現状評価】

博物館と市民との交流の場となっている特別展オープニングレセプションは、今年度も展示協力者を含めて、一定数の参加を得ることができた(42)。また、2014 年度より年２回の開催とした博物館懇談会では、市民委員５名に向けて展示等の事業報告や事業計画について説明を行い、どちらの回も有益なご指摘をいただいた(43)。次に行政(本庁)と博物館との関係について、昨年度と比較すると市長、副市長、教育長の来館回数(45)は減少、博物館職員の訪庁回数(46)は微増、市職員の来館回数(44)は増加した。

【改善を要する点等】

館職員の訪庁と市職員の来館については、円滑な意思疎通をするために必要なことであるため、引き続き日常的なコミュニケーションを大切にしていきたい。

⑤博物館の活動を広める

情報発信をし、市民が博物館の情報を入手しやすい環境を作ってきた。また、メディアに取り上げてもらうことによって、博物館や野田の魅力の向上に努めてきた。

【現状評価】

TV、雑誌、新聞掲載、ロケ地としての利用回について、TV で取り上げられた回数(47)は減少、ロケ地として利用された回数(49)及び新聞で取り上げられた回数(48)は前年度と同様であった。ホームページのセッション数は(50)最も多かった前年度に比べて減少した。資料データベースのページは、今後もデータを追加し充実を図っていく予定である。また、2014 年度に発行した博物館・市民会館の両施設を合わせたパンフレットは、敷地図の部分をカラーユニバーサルデザインを意識した色調のものに刷新した。

【改善を要する点等】

全体的に順調に推移していると思われる。

⑥市民のキャリアデザインに貢献する

市民が、キャリアデザイン事業に関心をもって参加することを目指した。また、ライフキャリアの各段階に応じた支援をすることで、市民が、学習目標の達成、キャリアの再設計、社会参加や地域貢献へつなげていけるようにした。

【現状評価】

寺子屋講座およびキャリアデザイン事業の平均参加者数(52,53)は前年度より減少、市民参加型企画展の平均入館者数(51)は前年度より微減となった。キャリアデザインの拠点機能の既知(54)は減少した。

11 名で活動している博物館ボランティアは、博物館開館日 271 日中、実際の業務従事日は 226.5 日(61 ページ参照)となり昨年度から増加した。来館者への対応については引き続き好評を得ており、展示アンケート(42 ～ 45 ページ参照)やモニタリング調査(29)からもうかがうことができる。

【改善を要する点等】

自主研究グループにおいては、農具に関するグループは活動を休止中である(56)。「室礼サロン・たのしい和」は定期的に活動を継続している(58)が、次年度でサポート終了となる。人材バンクについては、今後のあり方を含めて検討をしていく必要がある(60)。

	中項目	小項目		評価指標	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	凡例
ミッション1　地域の文化資源を掘り起こし、活用する博物館	①博物館機能を充実させる	資料の収集を行えているか	1	資料収蔵点数	16,673点	18,014点	19,750点	20,762点	21,901点	22,227点	22,625点	22,907点	23,072点	23,766点	23,913点	24,359点	当館蔵の資料総数。1件に複数点の資料が含まれる場合、点で計上。
			2	寄贈された資料件数	10件	96件	156件	84件	102件	179件	98件	98件	81件	24件	108件	74件	当該年度に市民等から寄贈された資料数。資料台帳に登録された件数で計上。
			3	寄託された資料件数	1件	13件	0件	4件	1件	2件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	当該年度に寄託された資料数。資料台帳に登録された件数で計上。寄託資料のため、所有者に返却することで数が減じた場合は -で相殺する。
			4	購入した資料件数	18件 960,905円	11件 137,870円	7件 880,288円	26件 487,230円	47件 949,090円	33件 828,200円	16件 804,550円	42件 666,650円	20件 886,970円	42件 695,856円	22件 232,520円	53件／ 773,184円	当該年度に購入した資料数。資料台帳に登録された件数／購入総額を記載。
		資料の保管状況は良好か	5	燻蒸回数	1回	0回	1回	0回	1回	0回	1回	0回	1回	0回	1回	0回	収蔵庫内の燻蒸の実施回数。隔年で実施。
			6	収蔵庫、展示室ケース内の粘着トラップの点検回数	－	－	14回	15回	15回	9回	4回	10回	10回	6回	4回	13回	展示室と収蔵庫に設置している虫害検査用粘着トラップの点検回数。
		収蔵資料は利用・公開しやすいよう整理が進められているか	7	本館収蔵庫での作業日数	－	－	－	－	－	33日	13日	11日	37日	23日	12日	12日	本館収蔵庫に入庫し、清掃や整理等、資料整理（再整理含む）に関する作業を行った日数。
			8	上花輪収蔵庫での作業日数	－	－	－	－	－	13日	18日	20日	19日	20日	20日	16日	上花輪収蔵庫に行き、資料整理等の作業を行った日数。
		学芸員は調査研究発表を行っているか	9	学芸員の講演・講座等の講師件数	2件	10件	11件	8件	16件	9件	5件	7件	6件	6件	5件	4件	学芸員が業務内および業務外で講師等をつとめた件数。
			10	学芸員による館外調査の件数	－	－	63件	73件	79件	75件	86件	29件	33件	69件	57件	52件	学芸員が展覧会や資料調査等の目的で、館外で調査を行った件数。
		収蔵資料を公開しているか	11	館蔵資料閲覧の件数	－	－	11件	48件	35件	35件	20件	20件	18件	17件	10件	12件	展示をしていない館蔵資料に対して閲覧申請を受け、対応をした件数。
			12	過去２年間の新規収蔵資料の展示公開割合	－	－	－	－	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	前々年度と前年度に寄贈、寄託、購入により収集した資料を、展示や特別公開等の手段で一般公開した割合。寄贈者数をベースに計上（複数点ある“資料群” を収集した場合はそのうちの1点以上を公開）。また、調査参考目的で収集した資料（古書籍等）は対象外とする。
			13	他機関への資料貸出件数	2件	4件	7件	7件	4件	7件	4件	5件	5件	1件	3件	3件	他機関への博物館資料等の貸出件数。
			14	他機関等への画像の提供、利用許可件数	9件	11件	14件	19件	25件	28件	47件	82件	107件	231件	297件	274件	他機関への画像（ポジ、データ）等の提供や申請者が撮影した写真の利用許可件数。
ミッション2　人やコミュニティが集い交流する博物館	②利用者サービスを図る	開館日数は十分か	15	博物館開館日数	284日	231日	249日	254日	273日	269日	264日	273日	273日	278日	271日	271日	火曜日・年末年始などの定期休館日、整備工事、展示替えやイベント等に伴う臨時休館日を除いた、年間の開館日数。
			16	市民会館開館日数	316日	312日	311日	265日	311日	308日	309日	311日	312日	309日	308日	308日	
		施設の利用者数は保たれているか	17	博物館入館者数	22,642人	23,977人	24,168人	28,583人	29,868人	29,753人	31,328人	32,164人	29,789人	28,445人	34,189人	31,668人	博物館開館日の入館者数。入り口のカウンタで計上。
			18	博物館１日平均入館者数	79.7人	103.8人	97.1人	112.5人	109.4人	110.6人	118.7人	117.8人	109.1人	102.3人	126.2人	116.9人	博物館開館日の入館者数を開館日でならしたもの。
			19	特別展・企画展の平均リピーター率	46.1%	47.9%	36.8%	44.0%	50.3%	52.2%	54.2%	46.6%	52.2%	54.0%	54.8%	60.0%	年間の展覧会アンケート回収枚数のうち、来館回数が2回目以上とした回答の割合。
			20	市民会館の入館者数	4,844人 ※2,3月のみ	42,701人	43,741人	44,575人	44,508人	47,114人	46,276人	50,660人	44,699人	45,652人	48,158人	46,393人	市民会館開館日の入館者数。正面玄関と内玄関の2箇所の入り口のカウンタで計上。
			21	市民会館１日平均入館者数	146.8人※2,3月のみ	136.9人	140.6人	168.2人	143.1人	153.0人	149.8人	162.9人	143.3人	147.7人	156.4人	150.6人	市民会館開館日の入館者数を開館日でならしたもの。
			22	市民会館貸部屋稼働率	84.8%	91.3%	93.6%	97.0%	93.6%	96.4%	96.1%	96.8%	95.8%	99.4%	100.0%	99.4%	市民会館の開館日のうち、貸部屋が利用された日の割合。
			23	市民会館の貸部屋利用団体数（市内）	603件	758件	804件	903件	962件	933件	986件	1,024件	939件	1,049件	1,178件	1,160件	貸部屋申込団体のうち、市内の団体あるいは在住者が申し込み、利用した件数。
			24	市民会館の貸部屋利用団体数（市外）	1件	13件	17件	28件	32件	30件	36件	42件	110件	180件	245件	250件	貸部屋申込団体のうち、市外の団体あるいは在住者が申し込み、利用した件数。
		来館者は利用に満足しているか	25	特別展・企画展の平均満足度	90.2 pt	89.1 pt	86.5 pt	87.3 pt	88.1 pt	85.4pt	89.4pt	91pt	92pt	92.5pt	91.3pt	94.0pt	展覧会アンケートの該当項目を点数化（※1）したもの。
			26	博物館の雰囲気、居心地に対する満足度	85.9 pt	84.3 pt	86 pt	84.9 pt	86.7 pt	84.4pt	87.4pt	89pt	90.5pt	90.5pt	90.5pt	91.3pt	展覧会アンケートの該当項目を点数化したもの。
			27	貸部屋利用者満足度	－	－	－	－	86.7 pt	－	－	85.8pt	－	－	－	86.0pt	市民会館利用者アンケート（※２）の総合的満足度を点数化したもの。
			28	職員・スタッフの対応を受けた来館者の割合	－	－	－	－	84.6%	85.8%	86.8%	82.5%	88.4%	89.0%	86.5%	87.1%	モニタリング調査（※３）の該当項目より計上。
			29	職員・スタッフの対応を受けた来館者の対応満足度	－	－	－	－	93.7pt	90.9pt	90.1pt	90pt	89.5pt	90.9pt	94.2pt	91.8pt	モニタリング調査の該当項目を点数化したもの。
			30	しょうがい者、高齢者等で、見学に補助が必要な方への対応件数	－	－	－	－	9件	9件	1件	4件	5件	2件	3件	1件	当館職員、博物館ボランティアが、車椅子での移動（段差部分等）の介助、筆談等で見学を補助した件数。
		ミュージアム・ショップは機能しているか	31	博物館刊行物の販売冊数	326冊	284冊	713冊	637冊	541冊	685冊	543冊	670冊	613冊	410冊	730冊	596冊	博物館発行の図録や書籍の販売冊数の合計。委託書籍は含まない。
			32	刊行物以外の品物の売り上げ	－	－	－	－	356,620円	351,153円	93,080円	151,183円	104,579円	63,111円	120,442円	55,460円	書籍以外のグッズ類販売（自主事業）の売り上げ。
		これまで博物館を利用してこなかった市民に利用されるようになっているか	33	新規来館市民の割合	－	－	－	－	13.6%	15.7%	21.1%	13.9%	12.8%	16.9%	16.7%	11.3%	モニタリング調査において、市内在住かつ初来館であると回答した利用者の割合。
	③市民の交流の拠点にする	施設が市民の交流と連携の場（ハブ）の役目を果たしているか	34	交流事業の参加者総数	560人／6回	332人／3回	303人／3回	173人／2回	227人／3回	240人／2回	170人／2回	279人／3回	320人／3回	310人／3回	275人 /3回	179人／3回	「観月会」「ミュージアム・コンサート」、その他セレモニーなどの参加者総数。交流事業に分類されている事業のうち、学校見学対応は含まない。
			35	小学校、中学校、高校、専門学校との連携件数	10件	16件	22件	27件	31件	36件	41件	43件	44件	49件	49件	51件	市内外の学校との連携の累積件数（※４）。見学会、職場体験、学芸員による講演や出張授業、学校（クラブ）によるレセプションへの出演など。
			36	大学との連携件数	3件	3件	7件	9件	9件	9件	10件	10件	10件	10件	10件	10件	大学との連携の累積件数。特別展のための合同調査、インターン受入、学芸員による講義、学生のスタッフ業務など。
			37	各種団体（農・商工・医療福祉）との連携件数	4件	6件	41件	44件	54件	55件	57件	61件	64件	68件	71件	75件	各種団体との連携の累積件数。団体代表者への寺子屋講師依頼、学芸員による講演、展覧会や事業への協力など。
			38	市民団体との連携件数	4件	10件	17件	23件	27件	33件	44件	50件	51件	53件	59件	64件	市民団体との連携の累積件数。市民団体とは、市民が文化活動、NPO、ボランティア（農・商工・医療福祉以外の分野）の活動を行う団体。
			39	行政との連携件数	2件	3件	4件	11件	12件	14件	15件	18件	20件	21件	27件	24件	学校以外の公共機関（公共博物館を含む）や行政機関との連携の累積件数。事業共催、展覧会協力、行政職員への寺子屋講師依頼、学芸員による講演など。
			40	当館のまちづくりの拠点機能を知っている市民の割合	－	－	－	－	52.3%	43.5%	－	49%	46%	44.7%	42.4%	37.8%	モニタリング調査の該当項目より計上。
		地域産業の PRになる取り組みをしているか	41	土産物マップの印刷枚数	－	－	－	－	2,700枚	－	－	2,070枚	1,800枚	1,200枚	900枚	1,100枚	野田散策 MAP「土産物編」の印刷枚数。

	中項目	小項目		評価指標	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	凡例
ミッション2 人やコミュニティが集い交流する博物館	④市民や市役所との意思疎通を図る	博物館は市民と意思疎通する機会を設けているか	42	特別展オープニングレセプションの参加者数	12人	50人	80人	45人	55人	38人	46人	35人	30人	40人	44人	49人	特別展の初日に行われるオープニングレセプションへの参加者数。
			43	博物館懇談会の回数	−	−	−	−	−	3回	3回	2回	2回	2回	2回	2回	博物館評価の一環として市民から博物館へ意見をもらう懇談会の開催回数。
		行政は博物館・市民会館に関心を向けているか	44	市職員の来館回数	195回	76回	70回	107回	123回	194回	223回	82回	57回	75回	84回	144回	日々の業務の中で市職員が来館した回数。館務日誌から計上。
			45	市長、副市長、教育長の来館回数	12回	2回	6回	6回	16回	12回	18回	6回	7回	7回	8回	5回	公式・非公式を問わず来館した回数。
			46	博物館職員の訪庁回数	−	−	−	−	167回	188回	138回	171回	219回	208回	185回	190回	当館職員が業務のため市役所を訪問した回数。
	⑤博物館の活動を広める	情報を発信しているか	47	TV で博物館が取り上げられた件数	11件	9件	8件	8件	8件	6件	3件	6件	4件	3件	3件	0件	TVのニュースや特集番組で当館及び当館事業が紹介された件数。ケーブルテレビを含む。
			48	新聞で博物館が取り上げられた件数	11件	22件	14件	18件	14件	10件	10件	17件	14件	10件	4件	4件	新聞で当館及び当館事業が紹介された件数。
			49	ロケ地としての利用回数	0回	1回	1回	3回	1回	1回	2回	8回	4回	1回	4件	4件	市民会館が CMや映画等のロケ地として使用された回数。実績は TVドラマ、TVCM、CDジャケット撮影、雑誌撮影など。非商用の撮影利用は含まない。
			50	ウェブサイトのアクセス件数	−	40,522件	56,828件	61,531件	52,021件	50,807件 ※4月〜2月まで	16,343件	22,050件	28,510件	29,262件	33,600件	32,417件	ホームページのリニューアルによりカウント方法が変更(※５)。ホームページ管理業務委託者より提出される月例報告を元としたセッション数。ユーザーがサイトに訪れた回数で、30 分以内の同一ユーザーの再訪問はカウントされない。
ミッション3 人びとの生き方や成長を支援して、キャリアデザインをはかる博物館	⑥市民のキャリアデザインに貢献する	市民が関心をもち、事業参加しているか	51	市民参加型企画展(年１〜２回)の平均入館者数	5,404人	4,909人	5,969人	8,510人	8,113人	8,475人	7,987人	7,872人	7,658人	7,299人	9,406人	8,226人	「市民コレクション展」「市民の文化活動報告展」「市民公募展」「市民アート展」など市民参加型企画展開催時の博物館入館者数合計を、企画展開催回数でならしたもの。
			52	寺子屋講座(年 22 〜 24 回)の平均参加者数	21人	16人	16人	16人	20人	17人	20人	20人	18人	17人	22人	17人	寺子屋講座「まちの仕事人講話」と「芸道文化講座」の参加者数合計を開催回数でならしたもの。受付簿を元に計上。
			53	キャリアデザイン事業(講座関係)(年７〜 10 回)の平均参加者数	9人	19人	13人	14人	9人	16人	18人	15人	11人	14人	13人	10人	「自主調査研究グループ育成連続講座」「キャリアデザイン連続講座」「キャリアデザイン講演会」「ワークショップ」「親と子の茶道講座」の参加者数を開催回数でならしたもの。受付簿を元に計上。連続講座の場合は延べ回数＋延べ人数で計上。
			54	「市民のキャリアデザインの拠点」機能を知っている来館者の割合	−	−	−	−	46.4%	38.9%	−	47.1%	38%	37.8%	37.9%	31.1%	モニタリング調査の該当項目より計上。
		市民がキャリアのステップアップを図っているか	55	2015 年度自主調査研究グループ(農具)の人数									3人 (うち新規0人)	3人 (うち新規0人)	3人 (うち新規0人)	3人 (うち新規0人)	講座後、自主調査研究グループ結成の呼びかけに応じて参加した修了者の人数。結成年度以降は当該年度末時点の会員数。(　)内は、当該年度に新たにメンバーに加わった人数。
			56	2015 年度自主調査研究グループ(農具)の活動回数									1回	11回	0回	0回	農具の自主調査研究グループが活動した回数。博物館で把握している活動を計上。
			57	2016 年度自主調査研究グループ「室礼サロン・たのしい和」の人数										14人 (うち新規0人)	17人 (うち新規4人)	20人 (うち新規3人)	講座後、自主調査研究グループ結成の呼びかけに応じて参加した修了者の人数。結成年度以降は当該年度末時点の会員数。(　)内は、当該年度に新たにメンバーに加わった人数。
			58	2016 年度自主調査研究グループ「室礼サロン・たのしい和」の活動回数										12回	24回	26回	しつらいの自主調査研究グループが活動した回数。博物館で把握している活動を計上。
			59	自主研究グループの活動実施回数合計	3回	2回	16回	22回	32回	43回	43回	18回	1回	23回	24回	26回	これまで発足した自主調査研究グループの活動実施回数の合計。
			60	人材バンク登録件数	−	−	−	137件	154件	170件	190件	212件	233件	258件	280件	299件	人材バンクに登録された人数。
			61	人材バンク仲介件数	1件	1件	1件	2件	2件	2件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	職員が人材バンク情報を利用して人材を仲介した件数。
			62	博物館ボランティアの活動延べ人数			168人	348人	480人	449人	549人	560人	570人	642人	575人	569人	博物館ボランティアの通常業務、および月例の連絡会、研修会への参加人数。ボランティアの出勤簿を元に計上。

：該当する事業が開始されていない年　　ー：データがない年

※１　展覧会アンケートの 4段階の選択肢の上位から 100(大変よかった)、75(まずまずよかった)、25(あまりよくなかった)、0(悪かった)ポイント(pt)を付与し、当該項目回答者総数で除して算出した点数。

※２　市民会館の頻繁な利用者(おおむね月 2回以上利用する団体のメンバー)に直接アンケートを手渡して回収。2007年〜2010年度非実施。2011年度回収枚数 66枚。2012年度、2013年度非実施。2014年度回収枚数 98枚。2015〜2017年度非実施。2018年度回数枚数 141枚。

※３　開館日から無作為に抽出した 10日、9時〜17時の間、当館入口(門 2か所) から出てくる利用者全員を対象に(団体等複数人の場合はその内の 1名) 対面式 (インタビュー形式) の調査。2011年度より実施。2011年度回収枚数 306枚。2012年度回収枚数 266枚。2013年度回収枚数 262枚。2014年度回収枚数 164枚。2015年度回収枚数 150枚。2016年度回収枚数 188枚。2017年度回収枚数 211枚。2018年度回収枚数 119枚。

※４　市民個人ではなく、市内コミュニティ(団体や組織)との「つながり」が出来たものを 1件として累積計上。資料調査、講演協力、団体や組織としてのイベント参加及び協力、施設管理に関わるもの等を含む。

※５　2013年４月１日にリニューアルしたホームページを公開。それに伴いアクセス解析のソフトも webalizerから Google Analyticsに変更になり指標も変わった。2013年度を境にアクセス解析の指標の数字が大幅に下がっているのは、ソフトの計測方法の違いによるものである。